

見通しの良い交差点。「こんな所で」と思う場所で、時に大事故が発生しています。「田園型事故」と呼ばれますが、原因のひとつに挙げられるのが運転手の目の錯覚です。

人の視界に

おいて、中心視野と呼ばれ

る両眼で「よく見える」部分は、せいぜい正面の30度程度。それ以外は周辺視野で、左眼か右眼の片方で見ている「何となく見える」部分です。

例えば、十字路交差点にあなたが

車で進入し、左手(あるいは右手)からも同時に同じ速度で別の車が進入した場合、双方の運転手が正面を向いたままで「周辺視野」で見ていると、相手が止まっているかのよう

運転中の「目の錯覚」

とがあるのです。

交差点や踏切では、目だけでなく、首全体を左右に動かして安全を確認すること

が大切です。



交通安全10メモ

錯覚を起こし、「急に車が現れた」と感じるこ